

8-5-5 ICT委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(2) 主な内容

当委員会は、14社19名の委員が参加し、DX推進、i-Construction、BIM/CIMなどのICTを対象に、調査・研究と会員企業の啓蒙・普及に取り組んだ。その活動は協会内にとどまらず、外部活動へも参画、連携を図ることで最新情報を収集し、それらの情報に基づいて関連講習会を開催するなど、会員企業の生産性向上や働き方改革に貢献した。

a) 協会内部での連携

生産性向上や働き方改革に関する協会内部の委員会やWGに参加した。また、それらの活動を通じて得られる最新情報の加盟各社での共有を図るために、各支部との連携強化を推進した。

- ① 未来塾対応WGへの参加
- ② 地位向上検討委員会への参加
- ③ 技術部会統括技術委員会生産性向上WGへの参加（国土交通省「ICT導入協議会」、国土交通省「BIM/CIM推進委員会」）
- ④ ICT普及専門委員会を中心とした本部一支部情報連携体制の整備
- ⑤ RCCM（管理一般分野（BIM/CIM等））自主学习教材の改訂

特に受注者における生成AIの利活用の進め方については、未来塾対応WG、地位向上検討委員会と連携し、国土交通省との意見交換も行いながらあるべき方向性について検討を行った。

b) 外部機関との連携

外部機関との連携を図るため、国土交通省や（一財）日本建設情報総合センターが設置した委員会、WGへ委員を派遣し、意見照会対応や意見具申を行った。

- ① 国土交通省「BIM/CIM推進委員会」の各WG
- ② JACIC「社会基盤情報標準化委員会」
- ③ JACIC-bsJ「国際土木委員会」

c) 啓発・普及のための活動

加盟各社の生産性向上と働き方改革を支援するために、ICTに関する講習会を地方支部と共同で開催した。

- ① CIMハンズオン講習会：全国9支部（うち2支部は2回）、それぞれ2日間で開催（計245名が参加）
- ② GIS講習会：需要の大きい2種類のシステム（ArcGIS、SIS）について、それぞれ全国9支部：15回開催（計206名が参加）
- ③ ICTセミナー：対面及びウェビナーでそれぞれ開催（計934名が参加）
- ④ 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会主催の「i-Constructionの概要と全体像」講演において「建設コンサルタントのi-Constructionの取組状況」のテーマで講演

2. 次年度の活動について

急速かつ広範囲で進歩するICTの動向を把握し、建設コンサルタントのDXに貢献するために、今年度同様、協会内外と連携を取りながら活動を継続する。特に、地方支部からの要望が強い3つの講習会は、最新情報を取り込みつつ、受講者のレベルに合わせたカリキュラムを改良するなど、より一層の充実を図る。

また近年は、新規技術の進展が著しく、国土地理院による「全国標高成果の改定」など、多くの動きがあるため、協会会員の技術向上に資する情報の精査・共有に努める。

生成系AIの利活用については、結論が出たわけではなく、刻々と状況が変化していくため、引き続き検討を行う。

一方、データ連携やプロセス改革等、当委員会に関連する話題での協議参加の機会がますます増えていくため、他の部会や委員会と協力しつつ、役割分担を明確にして、協会内での最大限の効果を上げるよう貢献する。

（ICT委員会委員長 児玉 直樹）